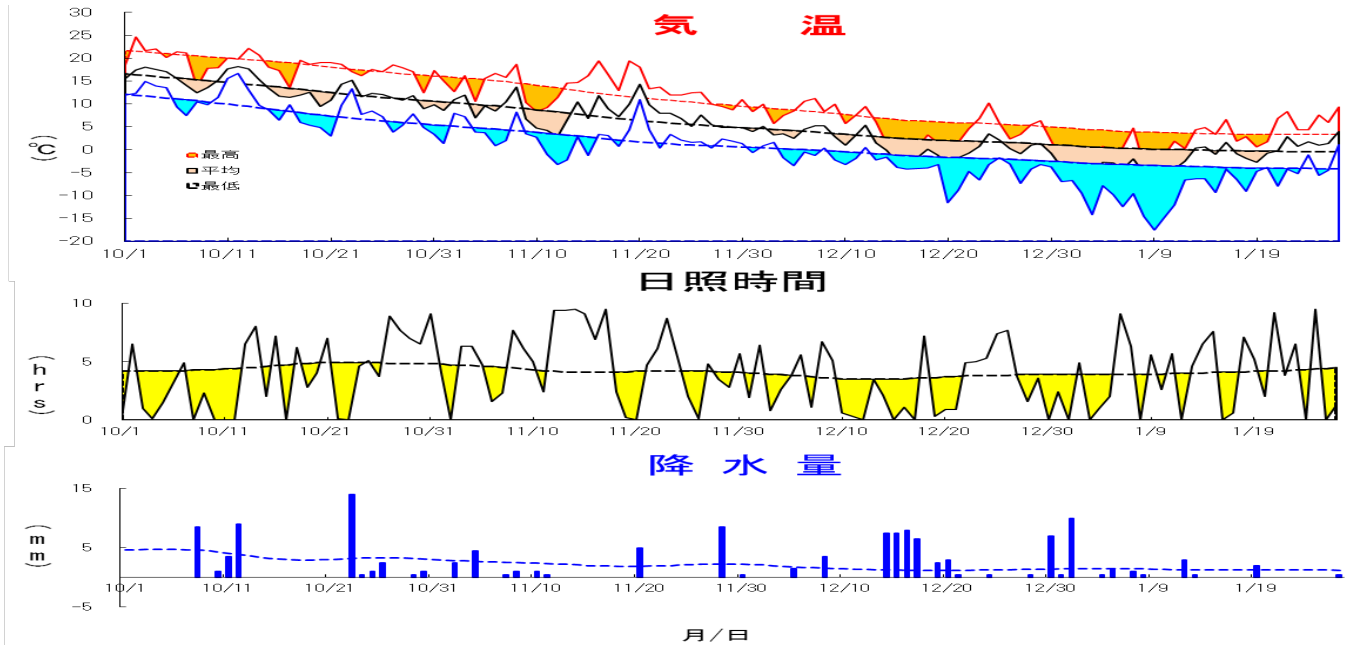


～播種は順調であったが、冬季厳寒で生育量やや不足か～

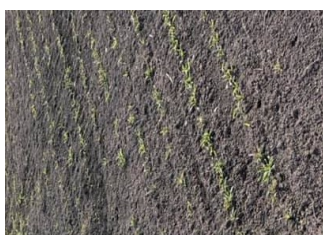
1 気象経過 (古川アメダス)



- ・10月～11月の平均気温は、概ね平年並み～やや高温傾向だったが、12月以降は平年より低温となった。特に12月末から年明けの1月上旬は記録的な低温となった。
- ・日照時間は、期間平均では概ね平年並となったが、寡照と多照が交互に出現した。
- ・降水量は、12月中旬と年末～年明け多雨（大雪）となったが、それ以外の期間は平年より少なく、期間全体でも平年より少なかった。
- ・累積降雪量は、白石を除き、特に平坦部では多く、仙台で平年比175%となっている。

月	平均気温 (°C)	最高気温 (°C)	最低気温 (°C)	降水量 (mm)	日照時間 (h)
10月	13.7	18.6	9.2	42	116
平年差	0.1	▲0.4	0.5	▲73	▲26
前年差	▲1.4	▲1.0	▲1.2	▲357	▲9
11月	8.0	13.6	2.6	24	147
平年差	0.5	0.9	▲0.1	▲44	18
前年差	0.3	0.9	0.1	5	8
12月	1.1	5.1	-3.2	49	93
平年差	▲1.5	▲1.7	▲2.1	4	▲23
前年差	▲1.8	▲2.7	▲2.1	17	▲44

累積降雪量					
2020年11月1日 - 2021年1月26日					
地点	本年 (cm)	平年比 (%)	平年値 (cm)	過去1位/日 (cm)	同差 観測年
駒ノ湯	426	92	464	165	2018
川渡	227	103	220	116	2001
古川	122	123	99	92	2001
石巻	40	1000	4	43	1923
新川	215	125	172	70	2014
仙台	49	175	28	41	1936
白石	30	67	45	57	2014



R3 米山



R2 古試



R元 古試



H30 古試



H29 古試

2 生育状況：12月15日現在の生育状況（古川農業試験場，県内普及センター 調査）

〔古試〕

- ・中下旬に播種した圃場の出芽日数は，大麦・小麦ともに平年並み～1日短く順調であった。
- ・12月15日現在の生育は，中旬播種では，「シュンライ」と「夏黄金」が草丈・茎数とも平年を上回り，「ミノリムギ」は草丈が平年より高かったが茎数はやや少なかった。出芽勢でやや劣った「シラネコムギ」は，草丈・茎数ともに平年を下回った。
- ・下旬播種では播種後やや低温傾向のため，中旬播種と比較して草丈で約60～70%，茎数で約30～40%葉数で約60%の生育量となった。
- ・大麦と夏黄金は生育量を確保したが，「シラネコムギ」はやや不足していた。
- ・幼穂分化状況は，中旬播種区の大麦の幼穂長は0.5mm，小麦は0.1～0.2mmで概ね平年並であった。

〔普及センター〕

- ・前作の作業が順調に進んだことや播種時の好天候に恵まれ，播種期は平年より早かった。
- ・播種後の天候は，やや降水量が少なかったものの適度な水分となり，出芽も良好であった。
- ・播種後ほぼ平年並みに経過し，播種期が早かったことで，12月15日の草丈は平年より高く，茎数も多い傾向である。しかし，その後の低温により生育はやや停滞していると思われる。

[播種期：中旬10月19日 下旬10月30日]

12月15日現在の生育 古試

	品種・区分	草丈		茎数		葉数		幼穂長	
		本年 (cm)	平年比 (%)	本年 (本/m ²)	平年比 (%)	本年 (枚)	平年差 (%)	本年 (mm)	平年差 (mm)
大麦	シュンライ 中旬	11.9	114	637	126	3.9	▲ 0.3	0.5	▲ 0.2
	同 下旬	7.2	-	198	-	2.5	-	0.2	-
	ミノリムギ 中旬	11.8	105	485	85	4.2	▲ 0.3	0.5	▲ 0.1
	同 下旬	7.7	-	199	-	2.4	-	0.2	-
小麦	シラネコムギ 中旬	10.9	90	313	65	4.6	▲ 0.1	0.1	▲ 0.1
	同 下旬	8.2	-	126	-	2.9	-	0.1	-
	夏黄金 中旬	10.8	-	515	-	4.7	-	0.2	-
	同 下旬	7.9	-	180	-	2.8	-	0.1	-

12月15日現在の生育 普及センター

	品種・区分	地域	播種期		草丈		茎数	
			本年 (月/日)	平年差 (日)	本年 (cm)	平年比 (%)	本年 (本/m ²)	平年比 (%)
大麦	シュンライ	大河原	11/14	9	6.4	82	188	103
		桃生	10/16	▲ 8	11.8	120	560	252
	ミノリムギ	桃生	10/20	▲ 4	11.4	95	258	114
		大河原	11/5	-	8.4	-	225	-
小麦	シラネコムギ	大河原	10/18	-	-	-	-	-
		古川	10/16	▲ 8	12.6	112	312	83
	夏黄金	鹿島台	10/22	▲ 16	16.3	243	1468	517
		小船越	11/29	32	-	-	-	-
	涌谷	11/1	▲ 5	9.1	125	315	97	

3 今後の管理

(1) 排水対策

- ・弾丸暗渠は，本暗渠に対し数m間隔で直角に深さ30～40cm程度とする。
- ・明渠は，冬の寒さで崩れている部分があるので明渠の補修を行い，深さ20～30cm程度とし，水口から水尻にかけて傾斜をつける。
- ・本暗渠が閉じているところがないか，圃場を良く再点検する。

(2) 麦踏み（踏圧）

- ・湿った状態で行うと土が硬く締まり，根の伸長阻害等の原因となるので圃場が乾いているときに実施する。
- ・麦踏みは茎立ち前（主稈長2cm，幼穂長2mm）までに実施する。
- ・湿害による葉の黄化や生育量不足や鳥害がある場合は，麦踏みを行う必要はない。

(3) 追肥（株直し追肥：2月上～中旬頃）

- ・葉色の回復や目標茎数（400本/m²程度）確保には追肥が有効で，窒素成分で1～2kg/10a程度施用する。

